

@ちんたむ 盗聴防止 料金の目安示す

盗聴防止の資格「通信傍受対策技士」を認定するNPO法人日本情報安全管理協会（東京）が盗聴防止の具体策や、目安となる料金を盛り込んだガイドライン（指針）をまとめた。

企業間の国際競争の激化に伴い、産業スパイの脅威が現実化している。NTTやNECグループなど大手企業も、この資格を取得して盗聴器探査ビジネスに乗り出した。しかし、大半は個人経営の事務所で、

情報安全管理協会
ガイドライン発行

探査能力や料金はまちまちだ。こうした現状を踏まえ、指針を作った。

指針は、盗聴器の精度などによって料金を4段階に分類。電器街などで安く買えるアナログ無線盗聴器などは100平方メートルあたり1万～5万円、デジタル無線盗聴器は同15万円、赤外線やレーザー盗聴器は35万円程度——とするよう促している。A4判、24頁。800円程度で販売する。問い合わせは同協会（☎03・5765・7677）。